

土石の堆積に関する工事の許可申請書

記入例

注意事項

宅地造成及び特定盛土等規制法 { <input checked="" type="checkbox"/> 第12条第1項 <input type="checkbox"/> 第30条第1項 } の規定により、 許可を申請します。 令和8年4月1日 久留米市長 殿 申請者 氏名 (株) シヤクシヨ 代表取締役 久留米 太郎		記入不要
1	工事主 住所 氏名	久留米市城南町15番地3 (株) シヤクシヨ 代表取締役 久留米 太郎
	(法人役員 住所 氏名)	別紙役員一覧参照
2	設計者 住所 氏名	久留米市合川町2190番地3 久留米 三郎
3	工事施行者 住所 氏名	久留米市野中町621番地18 (株) くるめ 代表取締役 久留米 次郎
4	土地の所在地及び地番 (代表地点の緯度経度)	久留米市城南町15番3、15番5 (緯度： 33° 19' 21.3 、経度： 130° 30' 21.1)
5	土地の面積	12,000.00 平方メートル
6	工事の目的	ストックヤード
7 工事の概要	イ 土石の堆積の最大堆積高さ	3.00 メートル
	ロ 土石の堆積を行う土地の面積	500.00 平方メートル
	ハ 土石の堆積の最大堆積量	1,200.00 立方メートル
	ニ 土石の堆積を行う土地の最大勾配	3/10
	ホ 勾配が十分の一を越える土地における堆積した土石の崩壊を防止するための措置	構台を設置
ヘ	土石の堆積を行う土地における地盤の改良その他の必要な措置	砂質土の敷き均し及び締固め 浅層混合改良

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥
- ⑦
- ⑧
- ⑨
- ⑩
- ⑪
- ⑫
- ⑬

- ① 第12条は宅地造成等工事規制区域、第30条は特定盛土等規制区域での工事です。
- ② 工事主が申請者で、申請書の下段の注意書きのとおりです。
- ③ 申請書の下段の注意書きのとおりです。
- ④ 申請書の下段の注意書きのとおりです。
役員が複数名いる場合は「別紙役員一覧参照」と記入し、別紙（任意様式）を添付してください。
- ⑤ 申請書の下段の注意書きのとおりです。
- ⑥ 未定ときは「未定」と記入し、申請書の下段の注意書きのとおりです。
- ⑦ 土地の登記事項証明書に記載された所在・地番とし、当該地番全てを記入してください。
- ⑧ 緯度と経度は、世界測地系※に換算し、小数点以下第1位まで記入してください。
「〇度△分□秒◇」「〇° △′ □.◇」どちらの表記でも構いません。
※「世界測地系」は、国土地理院HPの測量計算サイト（世界測地系座標変換）等で確認できます。
- ⑨ （共通事項）高さや面積等は、小数点以下第3位を四捨五入し、第2位まで記入してください。
- ⑩ （着手前・着手後共通）次の区分にならって記入してください。
ストックヤード、処理済み廃棄物、土石が製品なる工場、
工事に付随する土石の堆積、その他（具体的な用途を記入）
- ⑪ 計画における最大値を記載してください。
- ⑫ 計画における最大の値を記載してください。
(堆積する前後の地盤面の標高の差が 1メートル以下となる箇所を含みません。)
- ⑬ 地表水等による地盤の緩み等が生じるおそれがある場合、実施する地盤改良等の措置を記載してくださ

ト	空地の設置	番号	空地の幅	
		1	4.00	メートル
		2	6.00	メートル
チ	雨水その他の地表水を有効に排除する措置	空地の外側に側溝を設置		
リ	堆積した土石の崩壊に伴う土砂の流出を防止する措置	鋼矢板を設置(番号①、高さ3m、延長5m) 堆積した土石を防水シートで被覆		
ヌ	工事中の危害防止のための措置	工事区域をフェンスで囲う		
ル	その他の措置	なし		
ヲ	工事着手予定年月日	年 月 日		
ワ	工事完了予定年月日	許可後5年間		
カ	工程の概要	○月 構台設置 △月 盛土工		
8	その他必要な事項	○法○条の許可を取得済み		

記入不要	
------	--

- ⑭ 平面図等で位置を確認できるよう番号を付し記載してください。
入らない場合は「別紙のとおり」と記入し、別紙（任意様式）を添付してください。
規定の空地を設けることができない場合、⑮の措置の記載が必要です。
- ⑮ 必要な空地を設けることや立入り防止措置を講ずることができない箇所に実施する措置について記載してください。
- ⑯ 他の欄に記載しているものの他に、特筆すべき措置を実施する場合は記載してください。
- ⑰ 標準処理期間（許可申請等の手引き P45）を考慮して日付を設定してください。
許可取得後に速やかに現場着手する場合、工事着手予定年月日は空白とし、工事完了予定年月日に「許可後○日間」と記入してください。
工事着手予定年月日から5年間を超える土石の堆積は認められません。
- ⑱ 工程表がある場合は「別紙工程表参照」と記入し、工程表（任意様式）を添付してください。
- ⑳ 申請書の下段の注意書きのとおりです。

[注意]

- 1 ※印のある欄は記入しないでください。
- 2 申請者、1欄の工事主、2欄の設計者又は3欄の工事施行者が法人であるときは、氏名は、当該法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。
- 3 1欄の工事主が法人であるときは、工事主住所氏名のほか、当該法人の役員住所氏名を記入してください。
- 4 3欄は、未定のときは、後で定まってから工事着手前に届け出てください。
- 5 4欄は、代表地点の緯度及び経度を世界測地系に従って測量し、小数点以下第一位まで記入してください。
- 6 7欄りは、鋼矢板等を設置するときは、当該鋼矢板等についてそれぞれ番号、種類、高さ及び延長を記入し、それ以外の措置を講ずるときは、措置の内容を記入してください。
- 7 8欄は、土石の堆積に関する工事を施行することについて他の法令による許可、認可等を要する場合においてのみ、その許可、認可等の手続の状況を記入してください。